

今年も皆様の産技研として

皆様に喜ばれる交流連携事業を目指して!

交流連携室では平成18年の産技研の地方独立行政法人化を機に、様々な新しい取り組みや、事業の充実を図ってきました。今年はいくつかの新しい芽を育て、昨年よりも少しでも多く、企業の皆様に喜ばれるようなサービスを提供したいと考えております。以下に新しい取り組みをご紹介します。

産学公連携事業の新しい仕組み

産技研では平成17年度から、信用金庫等の金融機関との産学公連携に取り組んできました。金融機関との連携については、金融機関の顧客である中小企業と金融機関の担当者として来所して頂き、コーディネータとの3者で連携相談を行うことを進めております。また、中小企業の技術ニーズに対し、よりの確なマッチングを行うために、TLOとの連携や、日本全国の大学のシーズを集め、交流連携コーナーでの展示を行いました。

これからもご利用しやすい仕組み作りに取り組み、皆様からのご相談をお待ちしています。



産技研とコラボ産学官(TLO)との調印

企業ニーズに応える受託研究・共同研究

受託研究は企業からの委託に基づいて産技研職員が短期の研究・調査を行うもので、平成18年度から開始した事業です。受託研究の受付は常時行っており、企業の緊急な技術課題に対して即応できる研究事業です。研究費は企業の負担となりますが、非公開が原則となっており、秘密保持性の高いのもこの研究の特徴の一つです。企業の皆様からは、新製品の評価や製品の改善などにご利用頂いております。

共同研究は産技研と企業・大学とで、経費と人材を互いに分担し合い、新技術や新製品を創出する研究事業で、研究成果は公開が原則です。従来、共同開発研究と呼ばれていた事業の名称を改め、スピーディな技術支援が行えるように募集時期を4月、9月の2回/年といたしました。この事業からは、毎

年、特許や新製品が生まれています。

エンジニアリングアドバイザー制度の新設

技術アドバイザー指導事業は、平成17年度末で国庫補助の打ち切りによって終了しました。しかし、都内中小企業から継続の要望が強く、平成18年度から産技研が独自で行う実地技術支援事業の中で、エンジニアリングアドバイザー制度を新設し、事業を継続することになりました。毎月多くの企業から技術支援の要請があり、高度な専門知識と経験を有する外部専門家を、工場や事業所へ派遣しています。

これからも外部専門家の充実をはかり、皆様の要望に広くお応えできる体制を目指していきます。

社員研修に好評なオーダーメイドセミナー

オーダーメイドセミナーは、個別の企業・団体からの要望(内容・日時等)に沿って実施する研修事業です。こちらから出向いての開催も可能です。オーダーメイドセミナーでは、お客様との事前打ち合わせをきめ細かく行い、よりご満足いただけるセミナーを目指しています。特に、企業の社員・職員研修などでご好評を頂いております。

詳細は、各研究グループ・支所へ、お気軽にご相談ください。



パソコン室での実習風景

問い合わせ先

事業化支援部 交流連携室

TEL 03-3909-2384

